

令和3年度第3回東北森林管理局国有林材供給調整検討委員会（概要）

- 1 開催日時 令和3年12月22日(水) 14:00～16:00
- 2 場 所 東北森林管理局 2階 局大会議室
- 3 出席者 高田委員長、小野寺委員、一条委員、守屋委員、大坂委員、佐々木委員、安部委員
- 4 検討結果 合板や製材等に対する需要は旺盛であり、原木の引き合いは強く、価格も強含んでおり、原木の不足感が続いている。一方で製材の価格については保合で推移しているものの、一部地域でやや値下がり傾向もみられる。また、冬を迎え、素材生産や製材加工において降雪や丸太の凍結による影響が出始める。
以上の状況を踏まえ、国有林には引き続き製材等の需要及び冬季間における原木の供給量を注視しながら、需給バランスに応じた供給調整を臨機応変に行うこととされたい。
- 5 主な意見
 - (1) 製材工場、合板工場ともフル生産を続けており、原木の不足感は強まっている。このため、各工場が在庫を確保するまでは、原木の強い引き合いが続き、価格も高値のまま推移する見通しである。また、製材の供給量は、設備や人手等の理由から横ばいが続いているが、今後冬場を迎えることから、供給量の減少が見込まれる。
 - (2) 合板は旺盛な需要から堅調な出荷が続いており、在庫も低水準で推移している。強い引き合いが続く見通しであり、また原木や接着剤等の原料が値上がりしていることから、製品価格も値上げ傾向が続いている。
 - (3) 製材価格は高値のまま保合で推移しているが、当用買いの動きが広まっており、市売りでは元落ちも出始める等、需要には落ち着きが見られるようになっており、品目によっては値下げ傾向も一部で見られる。
 - (4) 中国への原木輸出は減速感があるものの、輸出向けの原木購入は続いている。また、アメリカ向けの製材輸出に関しては鈍化傾向が続いている。
 - (5) 木材需給がひっ迫する中で、国有林における立木販売の前倒しや生産された材の早期販売について取り組んでいただいたことについて感謝している。
 - (6) 近年強まっている国産材需要に対応するためにも、原木の供給量を増やしていくことが必要となっている。国有林が取り組んでいる素材生産事業体の生産性の向上により、管内全体の生産性の底上げを図っていくことは、木材の需給調整力の強化に貢献すると思われる。